

# 慶留間島のケラマジカ研究

渡口 舞（3年）・渡口 怜・大村加奈子（4年）  
座間味村立慶留間小学校



## 1. 研究題名

ケラマジカ～角とぎの跡～（渡口 舞）

## 2. 目的・動機

わたしが角とぎについて調べようとした理由は、最初に角のとぎ跡を見て、赤い色をしたものと、茶色があって、「なんで、同じ種類のシカなのにとぎ跡の色が違うのか？」と不思議に思ったからです。また、シカはどうやって角をとぐのか。どこをとぐのかを調べてみたかったからです。また、メスジカも体などでこするのかも調べてみたかったからです。

## 3. 方法・内容

30cmものさし、1mものさしを使い、角とぎ跡の長さとおさを計りました。

## 4. 結果

角とぎ跡を調べてみると、長いもので2.5cm、短いもので1.2cmでした。また、おさは1mmもなかったのでびっくりしました。そして、とぎ跡は地面から3.6cmくらいはなれたところにありました。また、つのとぎ跡は赤いものと、茶色のものがありました。

## 5. 考察

角とぎ跡を調べて、今回の調査では長いもので2.5cm、短いもので1.2cmでした。山にはまだまだたくさんのとぎ跡があると思うので調べてみたいです。次回は色の違いについても知りたいです。



## 1. 研究題名

ケラマジカ～シカの歩き方～（大村加奈子）

## 2. 目的・動機

わたしは、去年シカについて調べたことは、「ケラマジカの歩き方」についてでした。1年間で、知りたいことは、ほとんど調べることができました。坂道で下る時に、足で歩かず、ほとんどすべって下りたようなあとがありました。こんなことがたくさん調べられました。でも、気になったことが全部調べられたわけではありません。他にも、山に登る時は、どうやるか、山ではどうすごしているか、などは調べられませんでした。なので、今年はそんなことを調べるため、去年と同じテーマにしました。

## 3. 方法・内容

砂を浜から教員住宅の遊び場まで、一輪車で運びました。（5台分）次に、砂をしばふの上にして、スコップやとんぼで平らにしました。（約直径2m）そして、平らにした砂に水をまいて、少ししめらせました。最後に、ビンの中にシカが食べるクワの葉をさして、砂の中におれないようにしっかり置きました。



## 4. 結果

よく日、しかけを見に行くと、シカの足あととは一つもなく、エサを食べられていませんでした。このままじゃシカの歩き方について調べられないので、次しかけをするなら、山たんけんをしている所にしかけを作った方がいいと思います。また、エサもハイビスカスにした方がいいと思います。なぜかというとなさんが「シカはハイビスカスを食べる」と言っていたからです。



## 5. 考察

しかけを作った次の日にしかけを見に行きました。だけど、シカの足あととはついていませんでした。わたしたちは、シカはこの時期にはあまり山から下りてきていないのかなと思いました。～シカの歩き方～の実験は終わりましたが、次回は山にしかけを作ったり、エサをかえたりして、成功させたいです。

## 1. 研究題名

ケラマジカ～シカの身長～ (渡口 怜)

## 2. 目的・動機

ぼくは、去年も「シカの身長」を調べました。去年は角のときあとを使ってシカの身長を計りました。だけど、去年はオスの身長しか計ってないのでメスの身長も計ってみたいと思いこの「シカの身長」を調べることにしました。また、オスの身長も去年とは違う方法で計ってみたいと思ってこの課題にしました。

## 3. 方法・内容

山の入り口で、シカが好んで食べる「くろつぐ」の葉をとり、釣り糸で「くろつぐ」を結び、木にぶら下げました。

①1 m10cm、②1 m11cm、③1 m15 cmと三か所に設置。



## 4. 結果

一番高い、1 m15 cmの高さでぶら下げた「くろつぐ」は地面に落ちていました。エサがとれていたことから、届かなくてジャンプしてそのまま落ちたのだと思います。次に高い、1 m11cmにしかけた「くろつぐ」はかじられた跡がありました。同じ長さだった葉っぱの一部だけ短くなっていました。最後に1 m10cmの「くろつぐ」どこにも見あたりませんでした。食べやすい位置にあったのだと思いました。



## 5. 考察

三か所、全てにシカが「くろつぐ」を食べたあとがありました。2つは地面に落ちていて、もう1つは木にぶら下がったままでした。高さが110cmから115cm位だったので同じシカが食べたものじゃないかと思いました。オスかメスかはわかりませんでした。次は、オスかメスかも知りたいです。

